



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 シード
コード番号 7743 URL <http://www.seed.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浦壁 昌広

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 片山 和弘

TEL 03-3813-1111

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	5,677	16.9	309	225.5	164	77.3	69	182.3
28年3月期第1四半期	4,855	22.2	95	—	92	—	24	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △193百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 128百万円 (495.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	8.31	—
28年3月期第1四半期	2.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	25,993	7,570	29.1	907.24
28年3月期	24,768	7,952	32.1	952.95

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 7,570百万円 28年3月期 7,952百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	22.50	22.50
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	27.50	27.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 29年3月期期末配当金の内訳 普通配当22円50銭 記念配当 5円 ※設立60周年記念配当

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,200	7.1	400	11.8	350	6.1	160	2.3	19.17
通期	23,500	7.7	1,000	11.7	900	7.9	500	1.5	59.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	9,112,000 株	28年3月期	9,112,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	767,348 株	28年3月期	767,348 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	8,344,652 株	28年3月期1Q	8,554,700 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の2~3ページを参照願います。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による財政・金融政策等を背景に、緩やかな回復基調で推移しましたものの、中国やアジア新興国の成長鈍化や英国のEU離脱問題による急激な為替・株価変動の懸念等から企業収益や個人消費に減速感が顕在化し、不透明感が増しております。

コンタクトレンズ業界におきましては、視力補正が必要な方々の生活においてコンタクトレンズが“必需品”として定着している環境を背景にして、1日使い捨てタイプへのシフトが続いていることや、遠近両用やサークルレンズの伸長もあり、市場は緩やかながら成長基調にあるものと推測されます。しかしながら、シリコンハイドロゲル素材の新商品投入や乱視用、遠近両用のラインアップ強化等、メーカー間の競合環境は激化しております。

このような状況の中、当社グループは、3ヶ年中期経営計画の中間期である今年度につきましても前期から引き続き、「販売戦略」、「商品戦略」、「生産・開発力強化」、「管理体制強化」を最重要施策として、変化する市場や将来の競争力強化に結実すべく積極的に経営資源を投下しております。

既存商品のスペック拡充やブランド認知度向上を図り、国産ならではの開発力、品質・安全性の高さを、お客様よりご支援いただくことでシェア拡大に繋げ、収益性の改善、事業基盤の強化に努めております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,677百万円(前年同期比16.9%増)となり、利益につきましても、営業利益309百万円(前年同期比225.5%増)、経常利益164百万円(前年同期比77.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益69百万円(前年同期比182.3%増)と増収増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(コンタクトレンズ・ケア用品)

純国産使い捨てコンタクトレンズのピュアシリーズにおいて、1日使い捨てタイプの近視用、乱視用、遠近両用と2週間交換タイプの「2ウィークピュアうるおいプラス」を中心に、国産の品質力やきめ細やかな対応力を積極的にアピールしてまいりました。また、瞳を際立たせるサークルレンズ「シードアイコフレワンデーUV」と「ヒロインメイクワンデーUV」等サークルレンズにつきましても、国内外において積極的な営業活動を展開してまいりました。

この結果、「ワンデーピュアシリーズ」が約28%、「2ウィークピュアうるおいプラス」が約11%の伸長と好調に推移し、サークルレンズの3ブランドもそれぞれ前年同期を上回ったため、売上高は5,377百万円(前年同期比19.9%増)と増収となりました。

広告宣伝費や研究開発費の投入等、販管費は前年同期対比で増加しておりますものの、売上高伸長に伴う粗利益増加により営業利益につきましても、489百万円(前年同期比101.0%増)と増益となりました。

(眼鏡)

主力フレームの「ビビッドムーン」や「プラスミックス」を中心に、代理店の効率的な活用や展示会に出展する等、新販路の開拓や既存得意先での取引量拡大とともに、眼鏡レンズの販売中止により事業損益の改善に努めてまいりました。

しかしながら、主力フレームの春夏新作モデルの配荷が遅れたことにより、売上高は235百万円(前年同期比16.4%減)、営業損失5百万円(前年同期営業利益1百万円)となりました。

(その他)

子会社の携帯電話部門において、昨年8月に2店舗を譲渡したこと等が影響し、売上高は64百万円(前年同期比25.5%減)、営業損失16百万円(前年同期営業損失11百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、25,993百万円となり、前連結会計年度末から1,225百万円増加いたしました。主な要因として、研究棟の竣工に伴い有形固定資産が1,023百万円(13,752百万円から14,776百万円)増加したことや、売上高の増加や債権の回収により現金及び預金が336百万円(2,028百万円から2,365百万円)増加したことが挙げられます。

負債につきましては、18,423百万円となり、前連結会計年度末から1,607百万円の増加となりました。主な要因として、運転資金借入れにより短期借入金が716百万円(4,046百万円から4,762百万円)増加したことや、研究棟の竣工に伴い設備関係支払手形が818百万円(369百万円から1,188百万円)増加したことによるものであります。

純資産につきましては、7,570百万円となり、前連結会計年度末から381百万円の減少となりました。主な要因として、配当金の支払い等により利益剰余金が減少していることが挙げられます。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、2,365百万円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、599百万円(前年同期1,106百万円の収入)となりました。資金増加の主な要因は、売上債権の減少251百万円や仕入債務の増加315百万円が挙げられます。また、資金減少の主な要因は、賞与引当金の減少145百万円や法人税等の支払い233百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、381百万円(前年同期104百万円の支出)となりました。これは主に、研究棟の竣工に伴う有形固定資産の取得371百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、147百万円(前年同期697百万円の支出)となりました。これは主に、短期借入金の借入806百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、平成28年5月11日の「平成28年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,028,853	2,365,194
受取手形及び売掛金	3,671,570	3,419,732
商品及び製品	2,783,121	2,786,894
仕掛品	271,639	247,684
原材料及び貯蔵品	374,203	379,743
未収入金	314,875	324,149
その他	585,539	746,523
貸倒引当金	△82,670	△82,373
流動資産合計	9,947,132	10,187,548
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,642,112	6,189,828
機械装置及び運搬具(純額)	949,012	914,386
土地	3,548,710	3,548,710
リース資産(純額)	3,571,057	3,723,818
建設仮勘定	801,707	87,344
その他(純額)	239,891	312,399
有形固定資産合計	13,752,490	14,776,487
無形固定資産	65,941	62,964
投資その他の資産	1,002,540	966,821
固定資産合計	14,820,972	15,806,273
資産合計	24,768,104	25,993,822

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	944,685	1,260,440
短期借入金	4,046,270	4,762,761
リース債務	923,200	1,068,298
未払法人税等	255,926	24,075
未払金	1,325,243	1,450,061
賞与引当金	325,000	179,537
設備関係支払手形	369,557	1,188,065
製品保証引当金	37,900	45,200
資産除去債務	52,947	25,500
その他	958,303	1,047,818
流動負債合計	9,239,035	11,051,757
固定負債		
長期借入金	3,128,558	2,959,943
リース債務	2,752,705	2,763,242
退職給付に係る負債	1,535,967	1,525,442
役員退職慰労引当金	74,293	62,459
資産除去債務	57,290	57,374
その他	28,190	3,000
固定負債合計	7,577,005	7,371,462
負債合計	16,816,040	18,423,219
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,841,280	1,841,280
資本剰余金	3,546,560	3,546,560
利益剰余金	3,224,605	3,106,234
自己株式	△435,910	△435,910
株主資本合計	8,176,535	8,058,164
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	210,439	184,199
繰延ヘッジ損益	△277,102	△542,016
為替換算調整勘定	1,815	21,007
退職給付に係る調整累計額	△159,625	△150,753
その他の包括利益累計額合計	△224,471	△487,562
純資産合計	7,952,063	7,570,602
負債純資産合計	24,768,104	25,993,822

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	4,855,153	5,677,966
売上原価	2,830,226	3,376,997
売上総利益	2,024,927	2,300,969
販売費及び一般管理費	1,929,779	1,991,309
営業利益	95,148	309,659
営業外収益		
受取利息	147	661
受取配当金	3,892	3,331
受取賃貸料	6,242	5,034
為替差益	4,095	—
売電収入	11,275	9,963
その他	7,968	5,852
営業外収益合計	33,622	24,844
営業外費用		
支払利息	29,063	25,369
為替差損	—	137,980
その他	6,912	6,626
営業外費用合計	35,976	169,976
経常利益	92,793	164,528
特別利益		
固定資産売却益	—	31
投資有価証券売却益	1,807	—
特別利益合計	1,807	31
特別損失		
固定資産除却損	—	32,826
固定資産売却損	—	2,525
特別損失合計	—	35,352
税金等調整前四半期純利益	94,601	129,206
法人税、住民税及び事業税	18,811	13,877
法人税等調整額	51,208	45,946
法人税等合計	70,019	59,823
四半期純利益	24,581	69,383
親会社株主に帰属する四半期純利益	24,581	69,383

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	24,581	69,383
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	79,835	△26,240
繰延ヘッジ損益	12,313	△264,913
為替換算調整勘定	9,373	19,192
退職給付に係る調整額	2,193	8,871
その他の包括利益合計	103,716	△263,090
四半期包括利益	128,298	△193,706
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	128,298	△193,706
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	94,601	129,206
減価償却費	436,716	433,573
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,538	△366
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	28,074	2,257
賞与引当金の増減額(△は減少)	△134,070	△145,463
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△3,670	7,300
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,359	△11,834
受取利息及び受取配当金	△4,039	△3,993
支払利息	29,063	25,369
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,807	—
固定資産除却損	—	32,826
固定資産売却損益(△は益)	—	2,494
売上債権の増減額(△は増加)	250,937	251,817
たな卸資産の増減額(△は増加)	101,592	14,642
仕入債務の増減額(△は減少)	△59,475	315,754
未払金の増減額(△は減少)	158,058	130,159
その他	259,015	△329,091
小計	1,154,817	854,652
利息及び配当金の受取額	4,039	3,993
利息の支払額	△29,584	△25,332
法人税等の支払額	△22,664	△233,785
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,106,607	599,527
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△117,809	△371,909
投資有価証券の取得による支出	△209	△10,678
投資有価証券の売却による収入	13,856	—
貸付金の回収による収入	1,102	2,102
敷金及び保証金の差入による支出	△2,260	△270
敷金及び保証金の回収による収入	1,532	100
その他	△593	△502
投資活動によるキャッシュ・フロー	△104,381	△381,157
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	229,645	806,333
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△537,106	△558,457
配当金の支払額	△178,818	△174,435
リース債務の返済による支出	△211,179	△226,148
財務活動によるキャッシュ・フロー	△697,459	147,291
現金及び現金同等物に係る換算差額	12,130	△29,320
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	316,896	336,341
現金及び現金同等物の期首残高	1,155,443	2,028,853
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,472,340	2,365,194

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	コンタクトレンズ・ケア用品	眼鏡	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,486,594	281,573	4,768,168	86,985	4,855,153
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,486,594	281,573	4,768,168	86,985	4,855,153
セグメント利益又は損失(△)	243,544	1,178	244,723	△11,910	232,812

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、眼内レンズや携帯電話事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	244,723
「その他」の区分の利益	△11,910
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△137,664
四半期連結損益計算書の営業利益	95,148

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の総務部や経理部、情報システム部等の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	コンタクトレンズ・ケア用品	眼鏡	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,377,780	235,381	5,613,161	64,805	5,677,966
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,377,780	235,381	5,613,161	64,805	5,677,966
セグメント利益又は損失(△)	489,516	△5,627	483,889	△16,480	467,409

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないセグメントであり、眼内レンズや携帯電話事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	483,889
「その他」の区分の利益	△16,480
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△157,749
四半期連結損益計算書の営業利益	309,659

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の総務部や経理部、情報システム部等の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。